

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

多世代が集まり賑わう笠岡西地区再生計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

笠岡市

### 3 地域再生計画の区域

笠岡市の区域の一部（笠岡西地区）

### 4 地域再生計画の目標

JR笠岡駅の北西部に位置する笠岡西地区は、昭和末期まで地域住民の憩いの場であった映画館や大衆浴場が多数あり、若者から高齢者までの多くの人で賑わっていた。しかし、映画館が閉館し、大衆浴場が廃業したことで、地域住民が集え安らげる場所が少なくなり、さらに近年の人口減少と高齢化によって地域のコミュニティがますます減衰している状況である。

青年期に地域活動を受け継いだ現在の高齢者が、次の世代の若者に引き継ぐことが出来ずに、コミュニティの担い手を育てることが出来ていない状況や、若い世代に地域活動を引き継げないことから若者が地域活動に対して経験も少なく、参加意識が希薄であったり、活動したくても場が無かったりといった課題が浮き彫りになっている。

同地区にある井戸会館は、公衆浴場が設置された市内唯一のコミュニティハウスとして昭和62年に誕生した。当初は、大衆浴場の廃業を受けて多くの住民に利用されていたが、近年は、家庭風呂やデイサービスの普及により、年間利用者も開館当初の約2万人から、平成26年度は約6,000人まで減少した。また、設備の老朽化も著しく、改修も難しい状況にあり、長く地域の公衆浴場として地域住民に親しまれてきたが、惜しまれつつも平成27年度末で浴場を閉鎖することとなった。

そこで、今後は、同館の設備等を改修し、「地域の拠点」として活用することで、かつての当該地区の賑わいを取り戻すとともに、若者を呼び込み協働のまちづくりに参画してもらい、地域コミュニティの活性化を図りたい。

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
--	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

井戸会館の利用 人 数	6,280人	180人	370人	570人
井戸会館の利用 回 数	413回	17回	37回	62回
井戸会館利用人 数のうち若者 (39才以下)の 占める割合	0%	1%	1%	1%

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
井戸会館の利用 人 数	770人	980人	2,870人
井戸会館の利用 回 数	82回	107回	305回
井戸会館利用人 数のうち若者 (39才以下)の 占める割合	2%	2%	7%

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

かつて笠岡市の賑わいの中心であった笠岡地区のまちづくり活動拠点を再生させ、多世代の多種多様な人材が集まり交流することでまちづくり活動を展開し、賑わいを取り戻し地域コミュニティを活性化させる。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

- ① 事業主体 笠岡市
- ② 事業の名称 井戸会館再生事業
- ③ 事業の内容

井戸会館を「駅前の拠点」として再整備し、地域の希望を生み出す強い絆づくり活動を推進（若者や高齢者が集い、駅前の賑いを取り戻すプロジェクトを地域住民自ら模索する活動、「懐かしの映画上映」や「思い出写真館」を通じた若者と高齢者の交流等の取組み）していくこととする。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

改修後の拠点施設（井戸会館）の施設使用料や、地域の活動努力による収益金を増やしていく。また、地域づくりを応援したい人からのふるさと納税制度を活用した寄附による財源の確保を目指す。

【官民協働】

笠岡市とまちづくり協議会および志縁組織とが目的や目標を共有し、協働で事業を行うことにより、市民ニーズに合った公共サービスの提供や地域課題の解決を図ることができる。

【政策間連携】

笠岡駅前周辺に誰でも利用しやすい拠点を再整備し、まちづくりの環境を整えることで、高齢者や若者など多世代の交流を増やすことができ、異なる世代の考え方に触れ、多様な人材を育てることができる。高齢者は、居場所ができ、外出を促し、生きがいをつくり地域ぐるみで心身の健康な高齢者を増やす。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
井戸会館の利用 人数	6,280人	180人	370人	570人
井戸会館の利用 回数	413回	17回	37回	62回
井戸会館利用人数のうち若者 (39才以下)の 占める割合	0%	1%	1%	1%

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
井戸会館の利用 人数	770人	980人	2,870人
井戸会館の利用 回数	82回	107回	305回

井戸会館利用人数のうち若者(39才以下)の占める割合	2%	2%	7%
----------------------------	----	----	----

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を企画担当部署がとりまとめて、学識経験者、有識者等で組織する笠岡市施策評価委員会で評価を行う。評価結果は、必要に応じて笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略や今後の施政方針に反映させる。また、評価結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 45,590千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1)「かさおかホリデーチャレンジ」学習支援事業

事業概要：国語、算数等強化に係る補足的な学習を行う家庭学習サポートの場を、土曜日等の休日に提供することで、児童の学力向上の推進を図る。

実施主体：笠岡市

事業期間：平成29年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、関係施策評価委員会で評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて

必要な計画の見直しや変更を行う。

目標 1

井戸会館の利用人数については、毎年度末時点で管理主体の笠岡西地区コミュニティ推進協議会からの事業実績報告に基づき実数を把握する。

目標 2

井戸会館の利用回数については、毎年度末時点で管理主体の笠岡西地区コミュニティ推進協議会からの事業実績報告に基づき実数を把握する。

目標 3

井戸会館の利用人数のうち若者（39才以下）の占める割合については、毎年度末時点で管理主体の笠岡西地区コミュニティ推進協議会からの事業実績報告に基づき実数を把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
井戸会館の利用 人 数	6,280人	180人	370人	570人
井戸会館の利用 回 数	413回	17回	37回	62回
井戸会館利用人数のうち若者 (39才以下)の 占める割合	0%	1%	1%	1%

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
井戸会館の利用 人 数	770人	980人	2,870人
井戸会館の利用 回 数	82回	107回	305回
井戸会館利用人数のうち若者 (39才以下)の 占める割合	2%	2%	7%

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

笠岡市施策評価委員会で毎年度末時点の評価を行い、ホームページで公表する。